

学位プログラム シラバス Syllabus		OBTN51/ OBTN53		OBTN55 / OBTN57		OBTN59/ OBTN5B	
科目名・科目番号 Subjects・Course Number		臨床病態解明学特論I, II		臨床病態解明学演習I, II		臨床病態解明学 実験実習 I, II	
研究分野 Laboratories		災害・地域精神医学		災害・地域精神医学		災害・地域精神医学	
使用言語 Language used (Japanese, English, Bilingual)		バイリンガル		バイリンガル		バイリンガル	
他研究室学生の受け入れの可否(○×) Availability for Students from Other Lab		○		○		○	
他研究室学生の参加に関する問い合わせ先 Contact Information for Students from Other Lab		太刀川弘和, tachikawa@md.tsukuba.ac.jp		太刀川弘和, tachikawa@md.tsukuba.ac.jp		太刀川弘和, tachikawa@md.tsukuba.ac.jp	
授業形態 Course Type		講義、討論		演習		実験・実習	
開講場所 Room		1・2年次		1・2年次		1・2年次	
実施学期・曜時限等 Semester, Day and Period		特論Ⅰ 春学期 / 特論Ⅱ 秋学期		演習Ⅰ 春学期 / 演習Ⅱ 秋学期		実験実習Ⅰ 春学期 / 実験実習Ⅱ 秋学期	
単位取得要件 Requirement to earn credit		セミナー室、他		セミナー室、他		セミナー室、他	
担当教員名・オフィスアワー等		I：2単位、II：2単位		I：2単位、II：2単位		I：2単位、II：2単位	
単位取得要件 Requirement to earn credit		【事前】にメールで連絡すること 太刀川弘和, tachikawa@md.tsukuba.ac.jp 高橋晶, takahashi.sho.fn@u.tsukuba.ac.jp		【事前】にメールで連絡すること 太刀川弘和, tachikawa@md.tsukuba.ac.jp 高橋晶, takahashi.sho.fn@u.tsukuba.ac.jp		【事前】にメールで連絡すること 太刀川弘和, tachikawa@md.tsukuba.ac.jp 高橋晶, takahashi.sho.fn@u.tsukuba.ac.jp	
単位取得要件 Requirement to earn credit		【汎用】知の創成力、コミュニケーション能力		【汎用】知の創成力、コミュニケーション能力		【汎用】知の創成力	
単位取得要件 Requirement to earn credit		【専門】研究課題設定力、先端研究遂行力、専門知識運用力情報発信力、		【専門】研究課題設定力、先端研究遂行力、専門知識運用力情報発信力、		【専門】先端研究遂行力、専門知識運用力情報発信力、	
キーワード Keyword		災害精神医学、地域精神保健、自殺予防、リエゾン精神医療、インターネット精神医学、大規模災害時における被災者および救済者の心の健康保持、自殺予防、地域精神医療に関する活動実践や研究を題材とした講義・討論を通じて、災害精神医学、地域精神医学の研究者として自立して研究を立案、実施、評価できる能力を育成する。		災害精神医学、地域精神保健、自殺予防、リエゾン精神医療、インターネット精神医学、大規模災害時における被災者および救済者の心の健康保持、自殺予防、地域精神医療に関する活動実践や研究を題材とした講義・討論を通じて、災害精神医学、地域精神医学の研究者として自立して研究を立案、実施、評価できる能力を育成する。		災害精神医学、地域精神保健、自殺予防、リエゾン精神医療、インターネット精神医学、大規模災害時における被災者および救済者の心の健康保持、自殺予防、地域精神医療に関する活動実践や研究を題材とした講義・討論を通じて、災害精神医学、地域精神医学の研究者として自立して研究を立案、実施、評価できる能力を育成する。	
授業概要 Course Overview		1. 研究の目的、方法、結果とその意義について理解し、プレゼンテーションを行うことができる。 2. 当該領域の世界的研究について把握し、自らの研究の位置と独創性について説明できる。 3. 自らの研究結果に対する質問や意見を理解し、議論の内容を以後の研究のに反映できる。 4. 臨床研究法、研究倫理、利益相反について理解し、遵守できる。 5. 他の学生の発表内容を理解し、その向上のための建設的な質問や討論をすることができる。 6. 自らの研究成果を学会および学術誌に発表することができる。		1. 主要科学雑誌や on line の検索システムを用い、最新の原著論文の中から、読むべき論文を選ぶことができる。 2. 選んだ論文を読んで理解し、一定の時間内にその概要を説明することができる。 3. 個々の原著論文の歴史的意義、教科書的全体的の中における位置づけを説明することができる。 4. 他の学生が行う論文の説明を聞いて理解し、疑問点や当該研究の意義について討論することができる。		1. 災害に伴う個人・集団の心理社会的問題について理解できる。 2. 精神神経疾患や自殺の病態機序について説明できる。 3. 地域介入の方法について習得する。 4. 心理統計学、公衆衛生学、社会心理学、精神保健福祉など災害・地域精神医学研究に必要な学際的研手法を習得する。 5. 他の学問領域との研究連携について習得する。 6. 疫学および社会学的な研究手法について習得する。	
授業計画 Course Schedule		毎週火曜日 主要な研究対象であるうつ病、統合失調症、外傷後ストレス障害、認知症、適応障害、自殺予防等の研究について、適切な方法の選択や結果の意義の考察等を自力で可能にする学識と創造力を育む研究発表と討論を行う。		毎週火曜日、金曜日 科学論文の構成 研究論文の理解とその論理性・妥当性の評価 結果と考察の読み方 結果の解釈と臨床応用		1. 災害・自殺予防の心理対応の基本 2. リエゾンコンサルテーションの基本対応 3. 救急精神医学の基本対応 4. 疫学および社会精神医学の基礎 5. 統計解析の基礎	
第1回(月日、時限)担当教員名 講義内容 Course Prerequisites		なし		なし		なし	
成績評価方法 Grading Philosophy		行動目標の達成度を平常点(発表内容、討論内容)で評価する。 行動目標の1と2を指導に従って大旨できればC以上と判断する。 行動目標の1～3を指導に従って大旨でき、積極的C4を行っている判断されればB以上と判定する。1～3については発表と討論の概要をA4、1枚にまとめて提出させ、理解度を判定する。 行動目標の1～4について優れていると判断され、5～7を指導に従って大旨できると判断されればAと判定する。 到達目標の達成度により、研究指導教員、他研究室教員等が評価する。自立して実験研究を企画・実施・評価できる能力について、各教員からフィードバックを受ける。		行動目標の1と2について平常点として評価し大旨できていればC以上と判定する。 行動目標の1と2について平常点として評価し大旨できていると判断され、3について積極的に行っている判断されればB以上と判定する。 自分で重要と考えた論文の要約(A4、1枚)を月に2回提出させ、理解度を実際に評価し、優れていると判断されればAと判定する。 論文を批判的に読む能力並びに執筆する能力について、各教員からフィードバックを受ける。		安定で信頼性の高い実験を行う技能による評価(50%) 実験ノートまとめ方、実験結果の理解度、次の実験計画の作成能力に関する口頭試問による評価(50%) A+: 90 or more (top 10%) A: 80-89 B: 70-79 C: 60-69 D: less than 60 (Failure) 実験実技についての良い点や改善点について、各教員からフィードバックをうける。	
学習時間の割り当て及び授業外における学習方法 Learning method		講義100% 授業会における学習方法：自らの実験研究の立案、方法の選択、結果の解釈を行い、教員や学生同士での討論を常に行い、自らの創造力、自立力を向上させる。		演習(セミナー) 100% 授業外における学習方法：自分で重要と考えた論文を月に2回提出し、要約と意見を記述して提出する。		実験・実習 100% 授業外における学習方法：学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。	
教材・参考文献 Textbook		災害精神医学(星和書店)、つながりからみた自殺予防(人文書院)、災害支援者支援(日本評論社) 単位取得要件: 80%以上の出席		Oxford Textbook of Suicidology and Suicide Prevention: A Global Perspective; Textbook of Disaster Psychiatry Requirement to earn credit: Attendance 80% or more.		各研究・実験の基本プロトコルを配布する。 単位取得要件: 80%以上の出席。SBOが概ね達成されていること。	
単位取得要件 Requirement to earn credit		他研究室の授業への出席: 推奨		他研究室の授業への出席: 推奨			
その他(受講上の注意点等) Notes		疑問点はその場で質問し解決することおよび論理的な議論をすること。		疑問点はその場で質問し解決することおよび論理的な議論をすること。		疑問点はその場で質問し解決することおよび論理的な議論をすること。	
他の授業科目との関連		臨床病態解明学演習Ⅱ 臨床病態解明学実験実習Ⅱ		臨床病態解明学特論Ⅱ 臨床病態解明学演習Ⅱ 臨床病態解明学実験実習Ⅱ		臨床病態解明学特論Ⅱ 臨床病態解明学演習Ⅱ	